

住宅市場から広がる個人消費の盛り上がり



2013年4月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数（主要20都市圏）が、前年同期比12.1%の上昇と約7年ぶりの高い伸びを記録しました。住宅価格の上昇が示すように、米国の住宅市場は活況が続いている、その好影響は住宅関連を中心に個人消費にも広がり始めています。

例えば、ホームセンター最大手の「ホーム・デポ」は、2013年第1四半期決算において住宅市場の回復を追い風に、予想を上回る増収増益となりました。実は同社は「家一軒まるごと建てられる」と言われるほど住宅用資材の品揃えが豊富で、プロの建築業者がトラックでまとめて買いをしていくこともあります。

意外なところでは農業機械で有名な日本の「クボタ」も、米国住宅市場の回復で恩恵を受けている企業のひとつです。金融危機で北米での売り上げは一時的に落ち込みを見せたものの、2012年度は昨年度比20%も上昇しました。同社のトラクタは米国市場では、富裕層を中心に芝刈りやガーデニングなど農業以外の用途で人気を集めています。なんと「KUBOTA」は米国のガーデニング関係者の間ではすでに一流ブランドとして広く知れ渡っており、住宅周りの整備をする際のマストアイテムと言われているそうです。

GDPの7割を個人消費が占める米国では、住宅市場の回復によるさらに多方面への波及効果が期待されています。

S&P/ケース・シラー住宅価格指数
(主要20都市圏)



(出所) S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス

クボタの北米売上高推移



(出所) ブルームバーグ

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の結果を保証するものではありません。本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された市場の見通し等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合もあります。個別企業あるいは個別銘柄についての言及は、あくまで例示をもって理解を深めていただくためのものであり、当該個別銘柄の売買、ポートフォリオの構築、投資戦略の採用等を推奨あるいは勧誘するものではありません。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(Ⅰ)複写、写真複写、あるいはその他のいかなる手段において複製すること、あるいは(Ⅱ)再配布することを禁じます。

<審査番号: 102881.OTHER.MED.OTU > © 2013 Goldman Sachs. All rights reserved.